

MARUICHI

USER'S GUIDE

マルイチセーリング製品ユーザーズガイド

このたびは、マルイチセーリング製品を
お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、本製品を安全で正しくご使用いただくために
「経年変化」・「使用上の注意」・「お手入れ」・「アフターサービス」について
ご案内しています。

お使いいただく前に必ずお読みのうえ、
ご使用くださいますようお願いいたします。

納品直後の製品確認のお願い

- 納品後、直ちに製品の数や仕様、サイズ・キズ・破損などの有無を必ずご確認ください。
- お気付きの点がありましたら、納品後8日以内に販売店、または下記「マルイチセーリング株式会社 生活者対応室」まで速やかにご連絡ください。
- 納品後9日以降は、有償でのお取り扱いになる場合がありますのでご了承ください。

マルイチセーリング株式会社 生活者対応室

〒915-0256 福井県越前市赤坂町33-8-1

フリーダイヤル：0120-68-1201 (8:30~17:30/土・日・祭日・年末年始等は除く)

E-mail：info@01-s.co.jp <https://www.maruichi1950.jp>

「経年変化」について

「経年変化」とは ▶ 時間（月日）が経過することで、品質や性能に
変化が生じることです。

経年変化を少しでも抑止するために、デザインや素材選定、構造設計などで十分注意を
払っておりますが、下記のような経年変化が発生する場合がありますので予めご理解
ください。

ソファの場合

- 使用頻度に伴い、「購入時」より背クッションや座面の硬さが徐々に柔らかく変化
します。
※ソファに座る時は、極端な変形や硬さの変化を避けるため一か所に集中して座らず、
座面全体を均等に使用されることをお薦めします。
- ソファの表面張地は、布製・合成皮革・天然皮革に限らず伸びなどが発生し、購入時
には無かったシワなどが発生する場合があります。
- 直射日光に当てたり、強い照明（スポットライトのような照明）に長時間当たると、
張地表面の色落ちなどの変化が発生する場合があります。

リクライニング機能付ソファの場合

- 背をリクライニングさせる頻度により、購入時と比べ動きが柔らかくなる場合があり
ます。

木製品（テーブルなど）の場合

- 木製品は天然素材のため、使用環境により「反りや干割れ、痩せ」などの変化が
発生する場合があります。
※特に、室内の温度や湿度の変化、使用中での極端な水分の沁み込み、直射日光や
エアコンの吹き出し口からの直接の風当たりなどは、変化する最大要因ですので
十分ご注意ください。

使用上の注意

誤った使い方をすると人身事故につながったり、床や他の物を傷つけるおそれがありますので、必ず下記内容をお守りください。

ソファ・椅子製品全般について



座面、肘部、背もたれの上で立ったり、飛びはねたり、不安定な姿勢で腰掛けないでください。また、座る目的以外で、使用しないでください。転倒し、ケガや破損のおそれがあります。



座った状態で椅子を傾けないでください。転倒し、ケガや破損のおそれがあります。



製品に、強い衝撃を与えないでください。ケガや破損のおそれがあります。



肘部、座面、背もたれに物をのせないでください。転倒や落下によるケガ、床面への傷つけの恐れがあります。



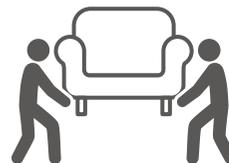
素肌、特にぬれた体では、座らないでください。カビや汚れの原因になることがあります。



幼児一人で、使用させないでください。ケガや破損のおそれがあります。



本体に固定取付のクッション（肘・座・背もたれ）は、引っぱらないでください。ほころびや破損の原因となります。特に、移動の際などは注意してください。

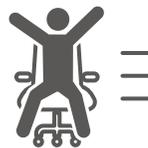


移動する時は、必ず座部の下に手をかけ、大人2人以上で床面を引きずらないよう、持ち上げて運んでください。ケガや床面のキズの防止になります。

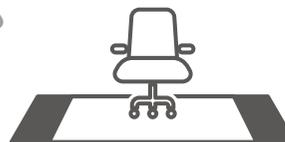


脚、ネジ、金具類は、着座衝撃の繰り返しにより、締まりが緩む場合があります。定期的にゆるみやぐらつきがないか点検し、ゆるんでいたら締め直してください。ゆるんだまま使用すると、ケガや破損のおそれが生じます。

キャスター付ソファ・椅子について



椅子に座ったまま、激しく動かしたり押して遊んだりしないでください。ケガや、他の物を壊すおそれがあります。



フローリングや畳など傷つきやすい床面では敷物を敷いて使用してください。床面のキズの防止になります。



キャスターのゆるみやぐらつきを、ときどき点検してください。ケガや破損の防止になります。

回転機能付椅子について



回転金具の部分や、椅子との隙間に指を入れないでください。
指をはさみケガのおそれがあります。



回転金具の部分に物をはさみ、回転を止めて使用しないでください。
ケガや金具の破損のおそれがあります。

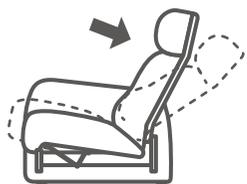


椅子の中央に腰掛けて使用してください。
また、必要以上に前後にゆらしたり、回転させて遊ばないでください。
ケガや金具の破損のおそれがあります。



回転金具のゆるみやぐらつきを、ときどき点検してください。
ケガや破損の防止になります。

リクライニング機能付ソファについて



製品が届いた最初の使用時には、運送過程による振動により、またご使用に際して背部を戻す際に過度の衝撃を与えると、まれに金具がロック状態となりリクライニングしなくなる場合があります。
その場合は、背部後方位置から背部を力強く引き寄せてください。ロックが解除され、通常使用に戻ります。



リクライニング金具や背、座シート間の隙間に指などを入れないでください。
はさみこんでケガをするおそれがあります。



操作中に無理して過度な力をかけたり、着座しない状態で背部にもたれ掛からないでください。
後方に倒れ、ケガや破損のおそれがあります。



操作するときは、必ずまわりを確認してください。
接触し、ケガや破損のおそれがあります。



リクライニングの倒れ具合やストッパーのきき具合は、使用条件や頻度、シートによって変わってきますので予めご了承ください。



リクライニング金具は、ときどき歪みやぐらつきなどがないか確認してください。
ケガや破損の防止になります。



リクライニング金具は、ご使用中に摩擦音が発生場合があります。
その場合は、ドアのチョウパンの開きをよくする時と同じように、市販の潤滑油（シリコンスプレー）を背部と座部のボルト接合部分に塗付してください。

潤滑油塗布の手順 ▶ P08

背もたれの倒れ防止調整機能について

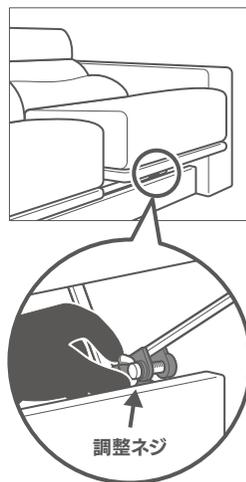
各座面下の向かって右側（右図まる印）に、調整ネジが付いています。

この調整ネジは、リクライニングの動きを体感的に制御するのではなく、人が座っていないくても背もたれが自然に倒れることを防止するためのものです。ソファから立ち上がった際、背もたれが自然に後方へ倒れる場合や自重で背もたれの位置がずれる場合にこの調整ネジをご利用ください。

なお使用する場合は、工具を使わず手で締まる範囲内で調整してください。

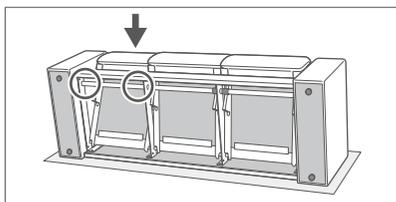
注意

- 調整ネジは、強く締めすぎたり緩めすぎたり、または取り外したりしないでください。動かなくなったり、破損するおそれがあります。
- この調整ネジは、リクライニングを固定するものではありませんので、ストッパーとして使用しないでください。

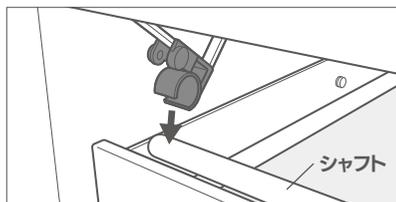


座面シートが外れた場合のもし方

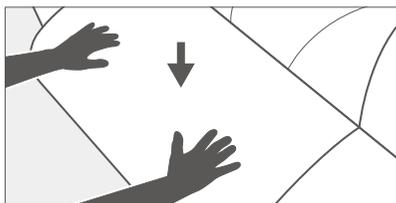
①外れたスライド金具の位置を、ご確認ください。



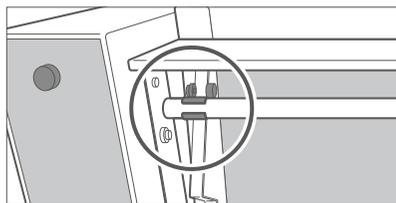
②左右のスライド金具がシャフトの真上にくる様に、位置を合わせてください。



③位置を合わせたら、座面の上から両手で下方に押してください。



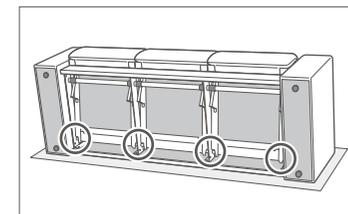
④スライド金具が、シャフトにしっかりはまっているかご確認ください。



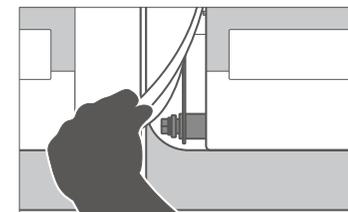
潤滑油塗布の手順

- 2人以上での作業をお勧めします。
- 床面保護のため、敷物を脚部下に敷いて作業してください。

①ソファを後ろ（背もたれ側）にゆっくり倒します。



②①のまる印部の張地をめくり、スチールフレームの接合部分を出します。

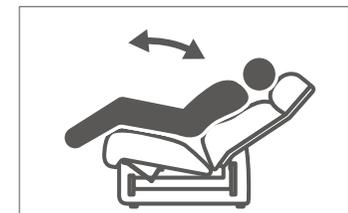


③スチールフレームの接合部分の細い隙間に、潤滑油を3～4回塗布してください。この時、潤滑油のノズルにつけるストローなどが付属されていれば、ご使用いただくと便利です。

※潤滑油（シリコンスプレー）はプラスチックや金属にも使用可能ですが、べたつかないものをお勧めします。



④塗布した後、張地をもとに戻しソファを起こします。そして、潤滑油をフレームになじませるため、リクライニング操作を2～3回繰り返してください。



○潤滑油をフレームになじませても、まだ音が出る場合は①～④をもう一度繰り返してください。

○音が出なくなれば完了ですが、それでも音が出る場合は販売店、または「マルイチセーリング株式会社 生活者対応室」(P01)までお問い合わせください。

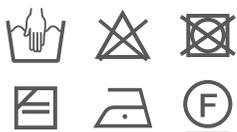
布張りのソファ・椅子について



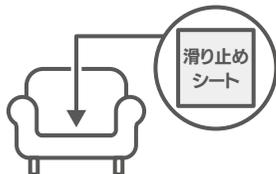
カバーリングを採用している製品のカバーをはずす時は、無理に引っ張ったりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。



カバーリングを採用している製品は、カバーを外した状態で使用しないでください。



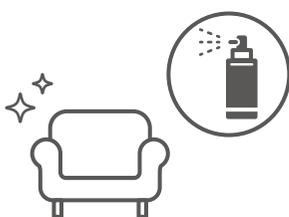
カバーリングを採用している製品のカバーは、洗濯表示に従ってメンテナンスを行ってください。



カバーリングを採用している製品の場合、使用中にカバーがズれてくることがあります。ズレがひどい場合は、市販の滑り止めシートをカバーと本体の間にいれて使用することをお勧めします。



当社のカバーリング仕様のソファは、すべてカバーの買い替えができます。ただし、お持ちのソファと同じ布地が廃番となっている場合は、対応可能な布地よりお選びいただくこととなりますので予めご了承ください。



小さいお子様による汚れや汗などが直接付きやすい環境で使用される場合は、予めクリーニング店で撥水加工を施したり市販の撥水スプレーの使用をお勧めします。

※市販の撥水スプレーを使用する場合は、その説明書をよく読み予め目立たない場所で試してから使用してください。

※汚れた場合は、「布張地のお手入れ方法」(P17)に従って汚れをおとしてください。

ソフトレザー(合成皮革)張りのソファ・椅子について



ソファや椅子の上に新聞や雑誌、柄物の衣類などは長時間置かないでください。張地に、印刷物が転写する場合があります。



濃色系のジーンズなどの洋服を着て座ると、色が張地に転写する場合がありますので十分注意してください。



猫や犬などペットのツメなどで、ソフトレザーの表皮がはがれる場合がありますので、ご注意ください。

※汚れた場合は、「ソフトレザーのお手入れ方法」(P19)に従って汚れをおとしてください。特に特殊な科学薬品などは、表面を傷めるおそれがありますので使用は避けてください。

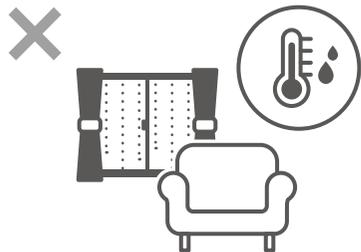
本革張りのソファ・椅子について

●革の特徴

一般的に革は保温性と吸湿性に優れ、気温によって風合いの変化が少ないとても丈夫な素材です。新しい革製品には、特有のにおいと硬質な質感がありますが、使い込むうちににおいも少なくなり、柔らかみも増し味わい深さができます。また、革の鞣し技術の進歩によりいろいろな質感や色のバリエーションも豊富になり、ソファや衣料からステーションナリーグッズまでさまざまな商品に使われるようになっていきます。

しかし、天然素材のため仕上げ方によっては、バラ傷(とげや引っかきキズ、虫さされの傷跡)やシワ、トラ(表面に大きく筋状に入っているシワ痕のようなトラ模様)、血スジ(血管が皮膚のすぐ下を通っていた跡)といったナチュラルマークと言われる自然の痕跡や色ムラ(革の密度や微妙な厚さによって出る染めむら)がある革があります。それらは、天然木にそれぞれ異なった木目があるように、自然の中で牛が生きた証ですので『天然素材特有の印』としてご理解しお楽しみください。

※ソファに革を張った場合、革と革(革と合成皮革)が擦れ「ブギブギ」といった音ができる場合がありますが、これは革本来の特徴で、ソファの機能に支障を与えるものではありません。



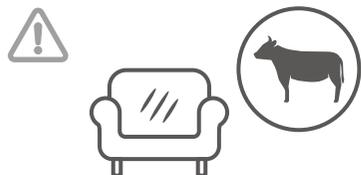
革は湿度に敏感な素材です。
湿度が高いとカビや変色が生じたり、乾燥すると割れや継ぎ目の切れを引き起こしますので、極端に湿度が高い場所や乾燥している場所での使用は避けてください。



色の薄い物を接触させたり、濡れた衣服のままで使用しないでください。
摩擦による色落ちや、水分を含んで色移行する場合がありますので注意してください。



猫や犬などの、ペットをのせないでください。
ツメなどで、表皮が傷つく場合があります。



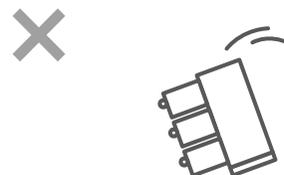
革は自然素材のため、動物の成長段階でついたキズやシワ・模様・色の濃淡などが含まれます。
予めご了承ください。

※汚れた場合は、「革張地のお手入れ方法」(P20)に従って汚れをおとしてください。

収納付ソファ・箱物・テーブルについて



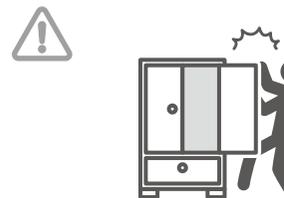
引き出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり、無理な力で引っばらないでください。
ケガや破損のおそれがあります。



扉や引き出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。
重心が前に移り転倒し、ケガや破損のおそれがあります。



引き出しをいっぱい引き出す時は、十分注意して引き出してください。
抜け落ちたり、ケガや破損のおそれがあります。



扉付の家具は、扉の開閉時に物や人にあたらないよう動く範囲を確かめてから開閉してください。
扉でケガや破損のおそれがあります。



取り外しの出来る棚は、棚受具を確実に取り付けてください。
はずれ落ちて、ケガや破損のおそれがあります。



箱物やテーブルの上に長時間重いものを置いたり、人が乗ったりしないでください。
ケガや破損のおそれがあります。



箱物やテーブルの上に直接熱いものを置いたり、ぬれたものを放置しないでください。また、テープ類を貼りつけたり、ビニールなどで覆って使用しないでください。塗料が変色したり、はがれるおそれがあります。



箱物やテーブルの上に底面がザラついた灰皿や食器などを直接置き、ひきずらないでください。キズつくおそれがあります。

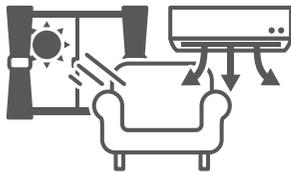


箱物やテーブルを横にしたり、壁などに立て掛けないでください。倒れてケガや破損のおそれがあります。



ガラスを使用した製品は、乱暴な扱いをしないでください。破損し、ケガのおそれがあります。

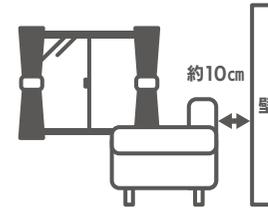
その他の注意事項



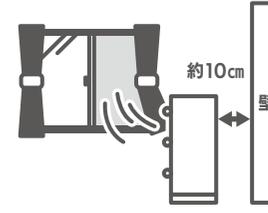
直射日光やスポットライトなどの強い光源、及びストーブのそばやエアコンなどの噴出し口の直下、室外など高温多湿の場所で使用しないでください。光や熱によって、火災や製品の変色・変形、カビなどの発生原因となります。



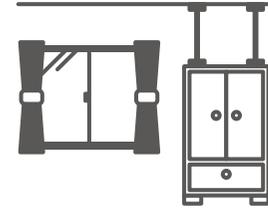
ヘッドレストが可動する製品の場合、その上に乗ったり、過度に力をかけたりしないでください。ケガや破損のおそれがあります。



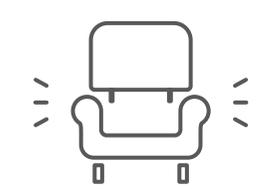
壁紙やビニール製品などと、長時間接触させないでください。壁紙やビニール製品に含まれる可塑剤の影響で、張地の色が移行したり表面がべたついたりすることがありますので、壁から約10cm離して設置してください。



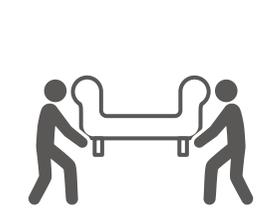
高温・多湿の部屋では、空気の滞留によりカビやダニが発生し、健康を害する場合があります。家具の裏側にも空気が流れるよう壁から約10cm離して設置し、十分な部屋の換気を行ってください。



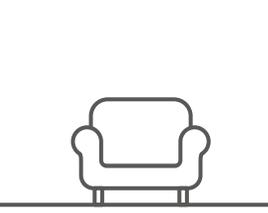
地震などで家具が倒れケガをする事がありますので、建物の壁・床・天井などに、固定用金物や固定部材でしっかり固定して使用してください。また、家具の上に物を置くと落下しケガをする事がありますので、置き方にご注意ください。



当社製品には、狭い部屋などに搬出入しやすいようロックダウンできる製品があります。詳しくは製品によって異なりますので、各製品の取扱説明書に従ってお取り扱いください。



組み立てたり・連結して使用する製品を移動する場合は、必ず各パーツに分けて移動してください。また、床の上を引きずって製品を移動しないでください。組み付けや連結部分の破損、床などをキズつける原因となります。



家具は、水平を保つように置いてください。不安定な場所での使用は、製品が歪んだり、破損やケガの原因となることがあります。アジャスター付製品に限り、床面の凹凸を可能な範囲にて調整し安定させることができます。



フローリングや畳など傷つきやすい床面で家具を使用する場合は、床面にキズがつかないように敷物を敷くか、脚の底面にフェルトなどを貼り付けてご使用ください。



毛足の長いカーペットの上で家具を使用する場合、カーペットを傷める原因になることがありますのでご注意ください。



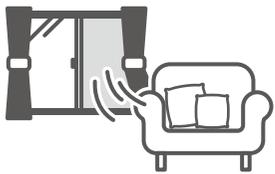
ヘッドレストやスライド金具などの可動する金具は、長期の使用期間により柔らかくなることがありますので予めご了承ください。



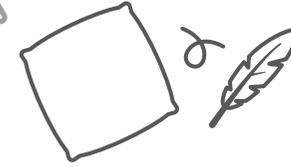
椅子類に使用されているウレタンフォームやバネ、綿、羽毛類は必ずへたりという経年変化がありますので、予めご了承ください。



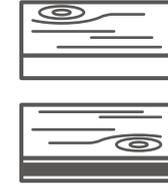
クッションを使用しているとカバーと中身がずれて、カバーにシワが付いたり変形することがあります。こまめにクッションの形を整えて、ご使用ください。



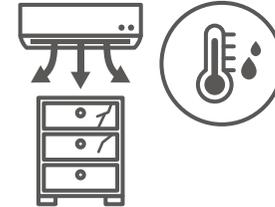
羽毛を使用したクッションは、こまめに風通しのよい場所で乾燥させてください。
また、中身が偏ったりする場合がありますので、定期的に全体をほぐすように形を整えることをお薦めします。
縮んだ羽毛などが復元し、弾力性が戻ります。



羽毛を使用したクッションは、羽毛が表に飛び出しにくい布地を使用していますが、縫い目などから出てくる場合がありますので予めご了承ください。



木製品の表面材には、「無垢」と「突板」があります。
いずれも天然素材のため、色や木目が製品によって多少異なりますので予めご了承ください。



木製品（無垢材）は、極端な乾燥や湿気の変化に敏感です。
ストーブやエアコンなど熱気や冷気が直接あたる場所では、表面が反ったり割れたりすることがありますので、室温が安定した環境でお使いください。

当社では、耐久性に富んだバネやウレタンフォーム、綿、クッション材などを採用していますが、使用頻度や状況によってクッション性が低下したり表面の張地にシワが出たりする場合があります。
長く快適に使用していただくために、経年変化が目立ち出したら、修理、または中身の交換などをお薦めします。
詳しくは販売店、または「マルイチセーリング株式会社 生活者対応室」(P01)までお問い合わせください。

お手入れについて

長く快適に使用していただくため、下記のメンテナンスを行うよう
お薦めします。

布張地のお手入れ方法

- 塵やほこりなど日常の汚れは、エチケツブラシで軽くブラッシングしてください。
- 汚れが付いた場合は、時間が経つと取りにくくなるのですぐに拭き取ってください。ただし、タバコの灰など粉状の汚れは、掃除機で吸い込んでお取りください。
- 簡単な汚れの場合は、ぬるま湯（30～40℃程度）に中性洗剤を10倍程度にうすめ、布に含ませ軽くたたくようにして取ってください。汚れを落した後、洗剤の成分が残らないよう湿った布で同じように水拭きをしてください。
- しみになるようなものをこぼした場合は、応急処置としてティッシュペーパーや乾いた布ではさむようにして取ってください。その後、ぬらした布で上から軽くたたいてください。
- なお、汚れの種類によっては下記のお手入れ方法を参考にしてください。

汚れの種類	綿	ポリエステル	アクリル
コーヒー 紅茶 お茶	①ぬれタオルでたたく。 ②うすめた中性洗剤液でたたく。	①ぬれタオルでたたく。 ②うすめた中性洗剤液、弱アルカリ性洗剤液でたたく。	
牛乳 卵	①水で絞ったタオルでたたく。 ②ベンジンでたたき、アンモニア水で拭き取る。		
ファンデーション 口紅 ほお紅	①ベンジンを含ませた布でたたく。 ②うすめた暖かい中性洗剤液でもむ。	①ベンジンを含ませた布でたたく。 ②うすめた暖かい中性洗剤液、弱アルカリ性洗剤液でもむ。	
マジックインキ	①ベンジンを含ませた布でたたく。 ②酸素系漂白剤を、歯ブラシにつけてたたく。 注：生成りは不可	①ベンジンを含ませた布でたたく。 ②酸素系漂白剤を、歯ブラシにつけてたたく。	
ボールペン	①アルコール原液でもむ。 ②中性洗剤を、10倍にうすめた液でもむ。	①アルコール原液でもむ。 ②中性洗剤か、弱アルカリ性洗剤を10倍にうすめた液でもむ。	

注意

- 汚れを落とす際、つよくこすり過ぎたりたたき過ぎたりして、布地を痛めないようご注意ください。
- 乾燥させる場合は、陰干しでゆっくり行ってください。太陽光の下や急激な乾燥は素材の硬化、または変色の原因になる場合がありますので注意してください。
- 洗剤などを使用した場合、成分が付着したまま時間が経つと変色する場合がありますので注意してください。
- クリーニング方法、汚れの度合い、時間の経過、色等により必ずしも期待通りの結果が得られない場合がありますがご了承ください。なお、特に綿素材はしみがとれにくいので注意してください。
- 油性のマジックインキや特殊薬品類、深くしみこんで固着した汚れなどは落ちにくく汚れが残ることがあります。
- 濃色の綿素材は、お手入れの際色落ちする場合がありますので注意してください。

カバーの水洗いに関する注意事項

水洗いが可能なカバーは、布地や仕様によって手洗いや洗濯機など洗いが異なりますので、下記内容をよくご覧の上、水洗いを行なってください。

洗濯する前に!!

はじめて洗うときは、必ずカバーに付いている洗濯マーク（取扱絵表示）を確かめてください。



液温40℃を限度とし、弱い手洗いで洗ってください。洗濯機は使用できません。



液温40℃を限度とし、洗濯機で洗えます。その場合は、弱い手洗いに準じる弱水流に限りです。

- 汚れがひどい箇所は、前もってシミ抜きすることをお薦めします。
- ご使用の布地が水洗い可能でもカバーの仕様によって水洗いできないことがありますので、必ず取扱絵表示をご確認ください。

たとえば … 綿やウレタンなどをキルティングした布地のカバーの場合。

本革や特殊素材など、水洗いできない素材が縫製されているカバーの場合。フラスナーなどで、過度に布地の表面が傷つくおそれのある場合。

洗濯機への入れ方

- 汚れた部分が表になるように、おおまかにたたんで洗濯機に入れてください。
- 衣類など他の洗濯物といっしょに洗濯しないでください。色うつりや傷つくおそれがあります。
- 糸くずなどがつきやすいもの（マジックテープの凸起部など）は、必ずカバーの内側にして洗濯してください。

注意 マジックテープなどの凸起部などを外側にして強く洗濯すると、布地の表面を傷つけるおそれがありますので、必ずカバーの内側（凸起部がカバーの裏側に接するよう）にし、弱い手洗いに準じる弱水流にて洗濯してください。

- 洗濯槽内での片寄りを防ぐため、洗濯槽にはまんべんなく入れてください。
- カバーなど洗濯物を詰め込みすぎると洗いムラや洗濯機の故障の原因になりますので、洗濯機の取扱説明書に準じて適量を入れてください。

やさしい干し方

- タンブラー乾燥などの、乾燥機で乾かすことはけっしてしないでください。カバーが縮んだり、型くずれや傷つくおそれがあります。
- 色落ちの原因のひとつに、日光による日焼けや色あせがあります。カバーなどを洗濯したあとは、必ず直射日光を避け日陰干しをしてください。
- 日陰干しの際は、ある程度形を整えてつり干ししてください。手のひらで軽くたたいてしわをのばすと、より効果的に乾かすことができます。

その他

- 洗濯機で洗濯する場合、量や洗濯機の種類、洗濯のコースなどによって条件が異なりますので、必ず洗濯機の取扱説明書に記載されている事項に従って洗濯してください。
- 使用する洗剤、柔軟剤などについても、洗濯機と洗剤などの説明書に従ってご使用ください。

ソフトレザー（合成皮革）のお手入れ方法

- お手入れは、年に2～3回程度を目安に柔らかくきれいな布で乾拭きしてください。
- 軽い汚れがある場合には、水またはぬるま湯（30～40℃程度）にて拭きとり、その後乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をぬるま湯（30～40℃程度）で5倍以上に希釈し布につけ、かたく絞ったのち丁寧に汚れを拭きあげてください。汚れを落とした後、洗剤の成分が残らないよう別の布で水拭きをし、さらに乾拭きをして水分が残らないようにしてください。
- なお、汚れの種類によっては下記のお手入れ方法を参考にしてください。

汚れの種類	方 法
コーヒー 紅茶	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ汚れをこすり取ってください。汚れの跡が残れば白い布にベンジンを含ませ、汚れの跡をこすり取ってください。その後、ぬるま湯を含ませた布で軽く拭いてください。ただし、淡色系は汚れ跡が残りやすいです。
ボールペン	白い布にベンジンを含ませ、汚れの跡をこすり取ってください。その後、ぬるま湯を含ませた布で軽く拭いてください。ただし、汚れ跡が残りやすいです。
酢・しょう油・ソース ケチャップ・マヨネーズ	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ、汚れをこすり取ってください。
ウイスキー	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ、汚れをこすり取ってください。ただし、淡色系は汚れ跡が残りやすいです。
ヘアートニック	汚染後、すみやかにぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ、汚れをこすり取ってください。
ヘアーリキッド	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ、汚れをこすり取ってください。
チューインガム	白い布にベンジンを含ませ、汚れの跡をこすり取ってください。その後、ぬるま湯を含ませた布で軽く拭いてください。
手あかなど 一般の汚れ	ぬるま湯または中性洗剤を白い布に含ませ、汚れをこすり取ってください。淡色系は、汚れの跡が残れば白い布にベンジンを含ませ、汚れの跡をこすり取ってください。その後、ぬるま湯を含ませた布で軽く拭いてください。

注 意

- 汚れを落とす際、つよくこすり過ぎてソフトレザーの表面を痛めないよう注意してください。
- 乾燥させる場合陰干しでゆっくり行ってください。太陽光の下や急激な乾燥は素材の硬化、または変色の原因になる場合がありますので注意してください。
- 洗剤を使用する場合は、変色のおそれがあるため目立たない部分でのテストをお勧めします。また、使用後に成分が付着したまま時間が経つと、素材の硬化や変色しやすくなる場合がありますので注意してください。
- ワックス、溶剤（アルコール・シンナー）などを含むクリーナー、科学雑巾などは表面の光沢をそこなうおそれがあり、また、表面劣化（表面剥離）の原因となりますので使用は避けてください。
- 汚れの度合い、時間の経過、レザーの色などにより必ずしも期待通りの結果が得れない場合がありますがご了承ください。
- ソフトレザー（天然皮革も同様）の表面には、「汗を含む水分」を残さないようにしっかりと拭き取ってください。水分が残ると表面劣化の原因となります。

革張地のお手入れ方法

- 普段のお手入れは、表面のほこりを軽くはたき、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 万一水に濡れたら、乾いたタオルで叩くようにして水気を除き、風通しのよい場所で形を整えて陰干ししてください。
濡れた革は熱に弱いので、決して高温ドライヤーなどで乾燥させないでください。中まで濡れた革が乾燥すると、油分の不均衡により部分的に硬化する場合があります。その場合は、市販のレザークリームのご使用をお勧めします。
- 長期的に保管する場合は、カビを防止するために天気の良い日に表面のほこりを軽くはたいて陰干しし、十分乾燥させてから保管してください。なお、汗やアカが付着している場合は、湿ったタオルで拭いてから陰干しすることをお勧めします。
- 長期的に保管する場合は、高温多湿をさけ日光などが直接あたらない通気性のよい場所に保管してください。また、ビニール袋に入れて密閉しないでください。
- なお、汚れの種類によっては下記のお手入れ方法を参考にしてください。

汚れの種類	方 法
コーヒー 紅茶	水で湿らした柔らかい白い布で、汚れがとれるまで丁寧に拭いてください。塩分の多い液体（みそ汁など）の場合は乾燥後、塩の結晶が吹き出ることがありますので念入りに拭き取ってください。十分乾燥したら、市販のレザークリームのご使用をお勧めします。
油性のもの （サラダオイルなど）	ごく薄い中性洗剤溶液（約1%～3%）を柔らかい白い布に含ませ、拭き取ってください。その後、洗剤の成分が残らないよう湿った布で水拭きしてください。乾燥したら、市販のレザークリームのご使用をお勧めします。
ボールペン クレヨン	柔らかい消しゴムで軽くこすって、汚れを取ってください。それでも残る時は、家庭用シミ抜きベンジンで軽く拭き取ってください。強くこすると表面を傷める恐れがありますので、十分注意してください。
手アカ 汗	手アカや汗で汚れがひどい場合は、市販のレザークリーナーを使用してください。その場合、説明書をよく読み予め目立たないところで試してからお使いください。

注 意

- 市販のレザークリーナーやレザークリームを使用する場合は、説明書をよく読んで予め目立たないところで試してからお使いください。革の仕上げの種類によっては、シミになる場合もありますので注意してください。
- レザークリーナーやレザークリームをつけすぎると色が濃くなったり、色落ちすることがありますので十分注意してください。
- 革はナフタリンなどの防虫剤に直に接すると、変色したり表面部分がはがれたりする場合がありますので、使用しないでください。
- シンナーや酸性、強いアルカリ性の洗剤、靴用クリーム、自動車用ワックスは使用しないでください。変色や変質、表面の破損の原因になります。

木部表面材のお手入れ方法

- 普段のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れたときは、中性洗剤を3～5%位にぬるま湯(30～40℃程度)でうすめ、柔らかい布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。
その後、洗剤の成分が残らないよう、湿った布で水拭きしてください。
最後に柔らかい乾いた布で軽く拭き、日陰で自然乾燥させてください。
- テーブルなどの上に食器などを直接置くと表面が傷つく場合がありますので、ランチョンマットなどの使用をお薦めします。
また、過熱した鍋などを置くと変色や変形の原因になりますので、必ず鍋敷きなどをご使用ください。

プラスチック・金属部のお手入れ方法

- 普段のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れたときは、市販のクリーナーを使用するか中性洗剤を3～5%位にぬるま湯(30～40℃程度)でうすめ、柔らかい布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。
その後、洗剤の成分が残らないよう、湿った布で水拭きしてください。
最後に柔らかい乾いた布で軽く拭き、日陰で自然乾燥させてください。
- 金属部表面の塗装は、キズなどによるさびを防ぐ効果があります。
万一傷ついたりすると、屋内でも湿気などからさびや表面剥離をおこす原因になりますので、市販のさび止め剤やワックスなどを塗り込み、酸化を防止することをお薦めします。

虫害について

- 虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。
- ソファやカーペットなどは、ダニなどの発生を抑えるためにこまめに掃除機で掃除することをお薦めします。
なお、その場合は掃除機のノズルなどで、張地やカーペットの毛を傷めないようご注意ください。

アフターサービスについて

品質保証／修理について

- 製品に添付されている「保証書」の内容をご覧ください、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合は販売店、または「マルイチセーリング株式会社 生活者対応室」(P01)までご連絡ください。

PL賠償共済について

PL賠償共済制度は、お買い上げいただいたお客様に家具を安心してお使いいただくための賠償共済制度です。
万一、お買い上げいただいた製品をご使用中に製品の欠陥で事故が発生した場合は、SA・FUラベルまたは下記に明記されている(一社)日本家具産業振興会にお知らせください。
お客様と事故との対応をいたします。



無断転用禁ず

販売元	マルイチセーリング株式会社
商品番号	製品に添付されているSA・FUラベルをご確認ください。

(一社)日本家具産業振興会 TEL: 03-3261-2801

※PL賠償共済は、SA・FUラベル添付製品のみ対象です。



MARUICHI